

日本英語教育史学会 第262回 研究例会

日 時： 2017年3月18日（土）14:00～17:00

場 所： 真宗教化センター しんらん交流館 会議室 E

（会報等で掲載されていた場所から変更されました。）

〒600-8164 京都市下京区諏訪町通六条下ル上柳 199

地下鉄五条駅前（東本願寺北隣：京都駅からも徒歩圏内です）

<http://www.higashihonganji.or.jp/about/access/pdfs/map.pdf>

内容

研究発表 「旧制実業専門学校の英語入学試験問題」

惟任 泰裕氏（神戸大学大学院）

概要 今日、大学入試のあり方が盛んに議論されている。英語教育に関しては、使えない「受験英語」という批判も根強い。しかしながら、これらの事柄について、歴史的な検討が十分になされているとは言えない。そこで本発表では、旧制実業専門学校の英語入学試験問題について、その実態と特質を明らかにする。発表に際しては、発表者が問題集等から復刻した試験問題や受験雑誌に掲載された言説を史料として用いる。

自著を語る 「古きをたずね、新しきを知る：中村捷編著『名著で学ぶ これからの英語教育と教授法』を素材に」

提案者 中村 捷氏（東北大学名誉教授）

指定討論者 川嶋 正士（日本大学）

概要 英語教育の名著（外山正一『英語教授法 附正則文部省英語読本』、岡倉由三郎『英語教育』、O. イェスペルセン『外国語教授法』、H. スウィート『言語の実際的研究』）を通して、碩学の言語観、教育観に基づく外国語教授の基本問題と外国語学習の基本問題を学ぶ。具体的問題のいくつか（訳読、暗唱、音読、会話、語彙、文法、教師、英語教育を始める時期など）を取り上げて、その基本問題を検討し若干の解説を加える。それによって、教師一人一人が自分自身の教育観、言語観に基づく自己の教授法を改善、発展させるための示唆を得られることと思う。

参加費： 無料

問合せ 日本英語教育史学会例会担当

reikai(at)hiset.jp (at)を@に変更してください。